豊かで 住みよい 町づくり

上勝

VoL. 103

議会だより

2026. 11. 1 発行

2P 第3回定例議会・補正予算
2-3P 主な質疑・討論
3P 審議案件と議決結果
4-9P 一般質問 6名が町政について質問
10P まちのようす

撮影：前田議員

令和８年９月定例会 補正予算の主な内訳

第3回定例会

会期 15日
開会 令和８年９月11日
閉会 令和８年９月25日

令和８年度 一般会計補正予算（補正第２号）

補正額（追加） 2億5,460万円

総　額 40億5,423万円

主なもの

- 総務　一般管理費
  - 一般職給料（共済掛金率変動）…… △771万円
  - いろどりの里整備基金積立金 …… 1億1,000万円
- 民生　老人福祉総務費
  - 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金 …… 3,314万円
- 商工　観光振興費
  - キャンプ場安全対策省エネ事業工事請負費（町単） 799万円

令和８年度　国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（補正第２号）

補正額（減額） 7万円　総　額 2億2,663万円

- 主なもの
  - ・総務　一般管理費
    - 一般職市町村職員共済組合負担金（人事異動要因）△7万円

令和８年度　介護保険特別会計補正予算（補正第２号）

補正額（追加） 391万円　総　額 3億8,094万円

- 主なもの
  - ・総務　一般管理費
    - 一般職給料 109万円

令和８年度　国民健康保険（診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第１号）

補正額（追加） 89万円　総　額 1億2,089万円

- 主なもの
  - ・総務　一般管理費
    - 一般職市町村職員共済組合負担金 35万円

令和８年度　国民健康保険（福原診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第１号）

補正額（追加） 6万円　総　額 2,006万円

- 主なもの
  - ・総務　一般管理費
    - 一般職市町村職員共済組合負担金 6万円

主な質疑・討論

議案第78号　物品購入契約の締結について（令和８年度（R７繰越）地域未来交付金（地域防災緊急整備型）防災用資機材整備事業（スポットクーラー））について

問　日下議員
スポットクーラーということで、冷暖房か、また競技によって使用できるのか。

答　久保総務課長
スポットクーラーになっているが、基本的にはエアコンと同等のもの。冷暖房が可能だ。競技によっては、影響する。風向きの調整などで対応してほしい。

問　岡本議員
防災用だが、使用する場合は誰に了解を得ればよいか。また、停電の場合はどうなるのか。

答　久保総務課長
スポットクーラーは上勝町の備品だが、災害時以外の運用については、学校にお願いする予定である。停電時の運用については、現在は対応できていない。

問　岡本議員
今後の課題として検討してほしい。

答　久保総務課長
200ボルトの動力なので発電機は難しい。費用対効果も含めて、検討していきたい。

議案第71号　令和8年度上勝町一般会計補正予算（補正第2号）について

問　平原議員

いろどりの里整備基金積立てについて、令和7年度の基金の総額が61億1261万5000円で、年度中に1億8000万円増えており、令和8年度にも1億1000万円の積立額となっている。事業費などの決まった上での積立となっているのか、または、将来に備えた積立てなのか。

答　花本町長

主に公共施設の修繕、更新等を目的として積んでおり、更新時期がぼつぼつ出てきているが、更新の施設に補助金がほとんどないために積立てている。

問　平原議員

具体的用途はまだ未定でよいか。

答　花本町長

そのとおりだ。

議案第69号　上勝町ゼロ・ウェイストセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

問　岡本議員

ゴミステーションの利用時間について平日、土日は書いてあるが、祭日の記入はしなくてよいのか。

答　清田企画環境課長

祝日は、曜日で扱うので記入しない。例えば、月曜日の祝日は平日の月曜日と同じ扱いとなる。

認定第64号　令和7年度上勝町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について

問　片山議員

ここ何年か奨学金を借りる方がいないことになっている。この制度に対する周知は十分できているのか。もし周知ができている上で借りる人が少ないのであれば、範囲や基準を見直してみてはどうか。

答　高橋教育委員会事務局長兼支所長

周知の方法については、広報で2～3月頃に周知をしている。制度の変更については、今のところ奨学資金運営委員会でも意見があり、償還期間は検討していきたい。貸付金額等については、現在のところ今の制度を継続していきたいと考えている。

令和8年　第3回上勝町議会定例会　審議案件と議決結果

（第3日）令和8年9月25日(金)

○:賛成　×:反対　ー:議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質疑	討論	結果	片山政紀	新田勝憲	平原美和	関康昭	前田敏宏	日下一茂	岡本明	高石雅弘
認定第59号	令和7年度上勝町一般会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第60号	令和7年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第61号	令和7年度上勝町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第62号	令和7年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第63号	令和7年度上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第64号	令和7年度上勝町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第65号	令和7年度上勝町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第66号	令和7年度上勝町高鉾財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定第67号	令和7年度上勝町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第68号	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号　令和8年度上勝町簡易水道事業会計補正予算(補正第1号)について)	無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第69号	上勝町ゼロ・ウェイストセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第70号	上勝町簡易給水施設条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第71号	令和8年度上勝町一般会計補正予算(補正第2号)について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第72号	令和8年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第2号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第73号	令和8年度上勝町介護保険特別会計補正予算(補正第2号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第74号	令和8年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第75号	令和8年度上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第76号	令和8年度上勝町簡易水道事業会計補正予算(補正第2号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第78号	物品購入契約の締結について(令和8年度(R7繰越)地域未来交付金(地域防災緊急整備型)防災用資機材整備事業(スポットクーラー))	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
報告第77号	令和7年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	無		報告								
ー	委員会の閉会中の継続調査について			承認	○	○	○	○	○	○	○	ー
ー	寄附の申し立てについて			報告								

問 月ヶ谷温泉の維持管理について

産業課長 上勝町と指定管理者が連携し対応する



新田勝憲 議員

月ヶ谷温泉、屋根の「のし瓦」について

問 湖南線沿いから見ると、屋根の一部に棟瓦・のし瓦が取付けられているが、のし瓦が数カ所ずれており、落下する危険性がある。台風シーズンを迎える前に、安全確認のため、早急に点検を行い、必要な補修等を実施すべきと考えるが。

答 佐々木産業課長

月ヶ谷温泉は、町が設置する公の施設であり、条例において、常に良好な状況において管理すると定められている。また、指定管理者の業務として、施設及び設備の維持管理が位置づけられ、協定書では、50万円未満の修繕は指定管理者が行うこととなっている。町と指定管理者が連携し、まず屋根全体について、瓦のずれや浮き、しっくいの劣化、棟部の損傷などを専門業者に点検させる。その結果、落下の危険性がある箇所については、立入防止などの安全対策を講じるとともに、のし瓦の固定や積み直し、棟部の補修など、必要な修繕を適切な予算措置を講じ、早期の対応に努めたい。

敷地内の樹木・雨どいの管理について

問 湖南線沿いの温泉敷地内では樹木が大きく成長し、一部が建屋の屋根に覆いかぶさっている。そのため屋根に、落ち葉がたまり、雨どいが枯れ葉で埋まっている箇所も見受けられる。樹木の剪定や伐採、雨どいの清掃など、施設を適切に維持管理するための対策を早急に行う必要があると思うが。

答 佐々木産業課長

月ヶ谷温泉敷地内外の樹木については枝の屋根への接触や、落ち葉による雨どいの詰まりが、雨漏りや屋根、雨どいの損傷、強風時の枝折れなど、安全面への影響につながるおそれがある。一方で目隠しや日陰として利用者に役立っている樹木もあり、また、屋根に接近している樹木の多くは町以外の所有で、作業が困難な場所もある。このため、周辺への影響や安全性を確認し、樹木の所有者の了承を得た上で、必要に応じて剪定や伐採の実施を検討したい。あわせて、樹木の成長や落ち葉の状況を定期的に確認し、剪定、清掃を計画的に実施する維持管理体制を整えていけるよう検討する。

屋根全般の清掃・維持管理について

問 月ヶ谷温泉の屋根全般について、建物の美観を保つだけでなく、屋根材の劣化を防ぎ、施設を長く使用していくためにも、定期的な点検と清掃が必要と考えるが。

答 佐々木産業課長

月ヶ谷温泉の屋根については、美観の維持だけではなく、落ち葉や土砂等による排水不良、コケや雑草、屋根材の劣化や雨漏りなどを早期に発見し、施設の長寿命化を図る観点から、定期的な点検・清掃が必要と認識している。今後は、指定管理者と連携し、日常的な目視確認に加え、落ち葉や枝、コケ等の除去、雨どいや排水溝の清掃、屋根材のずれやひび割れ、腐食、雨漏り等について計画的に点検を行う。また、屋根上の作業は危険を伴うため、必要に応じて専門業者を活用し、安全を確保して対応する。修繕が必要な場合は、緊急性や劣化状況、費用対効果を踏まえ、適切な修繕につなげる。

問 月ヶ谷温泉の建屋やバンガローを、安全かつ良好的な状態で長く利用していくためには、建物だけでなく屋根や外壁・樹木などを含め、周辺環境について、計画的かつ適切な維持管理を行うことが重要である。

答 佐々木産業課長

月ヶ谷温泉を将来にわたり安全かつ良好な状態で利用していくためには、建物内部だけでなく、屋根、外壁、設備、外構、進入路、樹木、法面など、施設全体と周辺環境を一体的に捉え、計画的に維持管理することが重要と認識している。これまでも、㈱かみかついっきゅうからの要望を踏まえ、優先順位の高いものから修繕等を実施しており、令和に入ってから約1億4600万円の修繕・改修および備品購入を行っている。今後は、指定管理者による定期点検に加え、町も現場の状況把握に務め、点検結果や修繕履歴を整理し、安全性や緊急性、利用者への影響、費用対効果などを考慮して優先順位を定め、中・長期的な修繕計画につなげる。また、軽微な不具合の段階で早期に対応する。必要な予算を確保し、建物、設備バンガロー等を一体的に管理する。町民・観光客の皆様が安心して利用できる施設として月ヶ谷温泉の長寿命化とサービスの維持・向上に取り組む。

※その他

福原ふれあいセンターの施設維持管理及び音響・電気設備について質問した。



日下一茂 議員

問 福原診療所の閉所は

診療所事務長 上勝町診療所への地域医療の一本化

福原診療所について

問 診療所の閉所について、住民説明を2回開催したが反響はどうか。

答 長木診療所事務長
福原診療所は一定の役割を終えたと判断し、上勝町診療所への地域医療の一本化に進めている。コミュニティセンターで住民説明会を7月16日に11名、8月10日は9名の参加があった。2回の説明会を通じ、福原診療所の閉所そのものに対する反対意見や残して欲しいという強い意見はなかった。福原診療所の閉所によって、利用者の不安や一定の不便が生じるのは十分承知しているが、説明会への参加者が少ない現状や閉所をどうしてもやめてほしい旨の強い発言がなかったので、閉所はやむなしとも捉えている人が多いと町は受け止めた。



福原診療所

問 上勝町診療所の運営状況は。

答 長木診療所事務長
診療収入の減少などにより、令和7年度は運営に必要な財源として、一般会計より単年度赤字分を補填している。医療提供体制を維持するには一定の経費も必要だ。昨今の物価や人件費の上昇も重なり、今後もその傾向は続くと予想される。すべき課題は多岐にわたるが、全従業員一丸となって取り組んでいる。



月ヶ谷温泉

かみかついっきゅうについて

問 7月からコンサルタントを入れているが、その後の進捗状況は。

答 佐々木産業課長
月1回の現地指導に加え、オンラインでの打合せを継続的に実施。解決

六十部線について

問 アメゴ養殖場下の山崩れがあるが修復はできないか。

答 笹尾建設課長
この箇所は消防団の町内危険箇所点検調査時に地元消防団からも要望があり、調査検討した結果、来年度の県単治山事業に要望を予定。

防災倉庫について

問 現在、防災倉庫は何カ所あるのか。

答 久保総務課長
設置数は3カ所だ。福原ふれあいセンター、旭基幹集落センター、高鉾公民館。本年度は傍示定住センターに隣接する形で設置予定。

問 住民の要望があれば設置してもらえるのか。

答 久保総務課長
避難所に隣接する形のものであれば検討したいが住民からの要望による設置は考えていない。自主防災組織等から地元への設置要望があれば検討したいが補助金での設置支援になる。用地の確保並びに設置、防災倉庫に格納する資機材の整備、維持管理等は自主防災組織で行う。



防災倉庫

防災訓練について

問 この9月6日の避難所開設には何人が参加したのか。

答 久保総務課長
一般参加者は31名だ。

問 小中学校児童生徒も参加し、訓練はできないのか。

答 立川教育長
9月は文化祭、運動会GXフェスティバル等の学校行事があり困難な状況だ。保護者と子ども達が防災訓練に自主的に参加できるよう連絡する。



高鉾公民館

問 上勝町診療所医師住宅が空き家なら一般貸し出し等の検討を

診療所事務長 医療人材の受入れや災害時の医療支援等、診療所に関連した施設として有効活用する



片山政紀 議員

上勝町診療所医師住宅について

問 診療所横にある医師住宅について、2棟あるうちの1棟が空き家の状態になっているのであれば、建物の維持管理等も含めて一般貸し出し等を検討してみてはどうか。

答 **長木診療所事務長**

上勝町診療所横の医師住宅については、診療所の建設に併せて、当時2名配置されていた医師の住宅として2棟整備されたものだ。その後、医師が使用しない場合は医療従事者の住宅としても活用しており、約10年前には、院外薬局の関係者が入居していた時期があるが、それ以降1棟については長期間使用されていない。

一般への貸し出しについては、使用料等の設定がないことから、貸し出しを行う場合は貸付方法や金額等について、制度上の整理が、必要と考える。一方で、今後は徳島大学医学部の学生が診療所で現地研修を行う機会が増える。次年度はほぼ毎月1週間程度、学生の受入れが見込まれる。その際の宿泊場所としての活用も考えている。また、大規模災害が発生した際には、DMATなど外部から派遣される医療支援者の宿泊場所や休憩場所として活用することも想定している。このため、まずは医療人材の受入れや災害時の医療支援など、診療所に関連した施設として有効活用していく。



上勝町診療所併設医師住宅

町内の医療体制について

問 徳島県のドクターヘリの運航状況について、8月10日で止まっているが、その後については、どうなっているか。

答 **三原住民課長**

現在は徳島県のドクターヘリについては運航を休止している状態。今後については、12月から令和9年2月まで、セントラルヘリコプターサービス株式会社による運航が予定されている。

問 現状でも他県からの助けがあるが、県内で支障は起きていないか。

答 **三原住民課長**

相互応援協定に基づいて香川県及び和歌山県のドクターヘリの要請ができるようになっており特に今のところは支障がない。

問 現在1つの町で、上勝町のように国保の診療所を2つ持っている町村は、ほかにあるのか。

答 **長木診療所事務長**

令和8年8月末現在、県内において複数の国保診療施設を設置している自治体はある。具体的には、那賀町、美波町、海陽町、市では三好市などが該当するが、いずれも市町村合併を経験した自治体であり、旧町村に設置されていた診療施設を引き継いでいるという点で、合併を行っていない上勝町とは経営が異なる。なお、平成の市町村合併を経験していない自治体において、1つの町で国保診療施設を2つ持っている自治体は、上勝町だけである。

問 医師の確保が難しくなってきている状況だと聞くが、県内どこも医師の確保は難しくなっているのか。

答 **長木診療所事務長**

医師の確保はかなり難しい状態となっている。へき地については、どこも同じような状況で、その中で医師の取り合いというのが現状だ。

問 今の状況を取り巻く中で、福原診療所を閉めて、町内の診療所を一本化するという認識でよいか。

答 **長木診療所事務長**

その認識で結構だ。町としては、今までも議会全協、国保運協、住民説明会で伝えてきている。福原診療所を令和9年3月31日をもって閉所し、上勝町診療所へ診療機能を一本化するということで進めている。

紙おむつ炭素化装置の実証実験について

問 他の自治体も、かなり注目していると聞こえてくるが、実証実験のその後の進捗状況はどうなっているのか。

答 **清田企画環境課長**

今後は、生理用品やペットシートなどを混合した実証実験を、各品目の排出量や製品の組成等を確認しながら、安全に運用できるよう準備を進めていく。

施設整備については、加熱時に発生する排ガスの成分測定を実施し、ダイオキシン類等をはじめとする有害ガスの有無や含有量測定を行っている。測定結果の報告に2カ月程度を要し、当初9月を予定していた一般利用の開始が11月以降に変更になると見込まれる。



平原美和 議員

問 鳥獣処理施設の実績（81頭）と計画（350頭）との差をどう考えるか

産業課長 埋設や自家消費が多いが、処理負担軽減に寄与している

農繁期の人手不足とdayworkについて

問 農繁期人手不足の必要な人数・時期や、無料職業紹介所の農業求人・就労実績を把握しているか。

答 佐々木産業課長
聞き取りや関係機関との情報共有に務めているが、具体的な数や紹介所の実績はまだ把握していない。

問 現在の人材確保の取り組みへの評価と、短期の需要を補う求人アプリdayworkの活用をどう考えるか。

答 佐々木産業課長
いろどり等の求人や家族・地域の協力は一定の役割を果たしてきたが、十分とは言えない。dayworkは有効な選択肢のひとつであり、関係機関と連携して試行的な取り組みを検討する。

問 勝浦町を参考に、産業課としてどのような支援を担う考えか。

答 佐々木産業課長
今のところ支援は考えていない。全国的に農協を中心に行っている状況で、メリット・デメリットを見極めて判断する。

小・中学校体育館空調設備について

問 教育活動や避難所として、空調設備の必要性をどう認識しているか。

答 久保総務課長
教育活動での快適な環境保持とQOL向上のため必要不可欠と考える。両体育館とも指定避難所だが空調は未整備だ。

問 暑さによる体調不良や授業・行事への影響をどう把握しているか。

答 立川教育長
体調不良や部活動・大会の中止などが発生しているが件数や記録はない。

問 国や県の補助制度を活用した空調・断熱の整備と、それに伴う事前調査はいつ始めるのか。

答 高橋教育委員会事務局長兼支所長
断熱を後年度に行うことも補助対象だが、電気代のコストを併せて確保すべきと考える。
まず構造や強度を把握し、調査はこれから検討する。

施設の利用状況と鳥獣害防止対策について

問 福原貸事務所KAMIKATSU+の空室が続く状況の見解と、募集・維持管理の状況は。

答 佐々木産業課長
長期の空室状況を重く受け止めている。町HPや広報紙等で周知し、複数件内覧を行った。水道・電気代は基本的に使用料の中で賄っている。通告になかったため詳しい数値は手元にない。

問 森林担い手活動施設の目的と利用実績は。

答 佐々木産業課長
目的は将来的な森林環境公社の作業班2班体制に移行への基盤と若手担い手の育成。令和6年から8年9月まで累計184回利用し、研修や道具の手入れに使用。

問 鳥獣の捕獲目標・実績と猟期中の報償金額見直しを。

答 佐々木産業課長
令和7年度目標鹿700頭に対し実績724頭、イノシシ100頭に対し33頭。鹿の成獣は猟期外2万円、猟期1万円で、イノシシは猟期中の支給がないが、近隣と比べ高い水準額で変更の予定はない。

問 鳥獣処理施設の実績と年間350頭の計画との差をどう評価するか。

答 佐々木産業課長
令和7年7月22日の運用開始から38回稼動し令和8年9月10日現在、鹿78頭、イノシシ3頭を受け入れた。埋設処理や自家消費が多いが処理負担の軽減や高捕獲水準の維持に寄与している。

問 担当職員の作業負担対策や、外部委託への見通しは。

答 佐々木産業課長
職員2名で搬入・投入、解体、操作、監視等を行っている。精神的負担が大きく、防護衣や交代制、衛生・メンタル面に配慮している。外部委託を基本方針とし、直営で手順や課題を検証しているが、移行時期は未定。

問 施設ごとの目標と実績を示し、差が生じた場合見直しするのか。

答 佐々木産業課
各施設は2040年人口1000人を確保する目標達成に向け、起業や事業展開の支援、かみかつ森林環境公社の2班体制移行を見据えた林業振興、捕獲者の負担軽減や処理方法の選択肢拡充による鳥獣被害防止推進の基盤として、明確な目的を持って整備・運用している。短期的な利用実績だけでなく、地域課題の解決や定住促進といった中長期的な効果も検証し、想定と実績に差があれば、周知や運用を柔軟に見直す。

問 林道梅ノ木線の災害について



関　康昭 議員

建設課長 安全を確保しつつ状況を注視している

梅ノ木線の災害を把握しているか

問 林道梅ノ木線で唐谷線入口から上へ600m位の所で令和6年の大雨で路面を水が流れ、横断側溝が水をはけ切れず、あぜの盛土を押し流している災害を把握しているか。

答 笹尾建設課長

林道梅ノ木線の保護路肩崩壊については、コンクリート路面工より外側の保護路肩法面が降雨による路面排水の集中により流出した状況を把握している。

昨年の被災直後に、注意喚起のためのコーンを設置、併せて横断側溝の詰りを修路工により清掃、除去し、被災原因となった路面水の集中を排除しているところであり、その後においては大きな変化はない状態である。

なお、当時の被災時に林道災害も検討したが、条件を満たしていなかったため、災害の申請には至っていない。

質問では令和6年の大雨とのことだが、建設課は令和7年5月と把握している。



（現場を上から見た写真）

問 町内には、他にもたくさんあるかも知れないが、県道から柴小屋、大川原線への大切な道であり、コンクリート舗装の下を少しえぐるように水が流れ、放置していると、大雨のたびに段々と大きくなる。木材搬出のトラック、工事車両等が通る林道で危険であり、復旧が急がれるのではないか。

答 笹尾建設課長

現状、保護路肩の流出はあるが、コンクリート路面工の下部の路床まで被災していないこと、また林道の幅員を確保できていることから、通行に支障がないと判断している。

ただ、保護路肩がなく、安全通行保護のため、コーンを設置している。今後も状況を注視する。



（現場を下から見た写真）

問 今のところ心配のない判断だが、水が出て、下がえぐられた場合、隠れて分からないと思うので、よく注意し、気にかけて、できる限り早い段階で修復の検討を願いたいが、復旧予定はいつ頃か。

答 笹尾建設課長

通行の安全を確保しつつ、状況を注視している状況であるため、現時点での復旧の予定は未定である。

問 コンサルタント料は月約60万円 効果が出ていると感じられるか



岡本　明 議員

町長 まだ始まったばかり 結果を見ていただきたい

月ケ谷温泉について

問 コンサルタントが入って、何か改善された点はあるか。

答 **佐々木産業課長**
コンサルタントを導入してから、まだ2カ月あまり。価格帯の調整、従業員の意識改革を進めており、目に見えた結果としては表れていない。

町営住宅について

問 上勝町は、移住者促進のために色々な事業をしてきたが、住宅が足りていない。受け入れ態勢が出来ていないのではないか。町長は、住宅を建てる気は無いようだが、何か良い策を持っているのか。

答 **清田企画環境課長**
人口動態や財政負担を考えると、新たな町営住宅の建設には慎重な判断が必要。「ゼロ・ウェイストの町」として、空き家の活用や既存の地域住宅の活用、改修を進め、町営住宅入居者が空き家へ移り、そこへ新たな移住者を呼び込むという、住宅を循環させる仕組みを目指している。

答 **花本町長**
町営住宅116戸は、将来的な財政負担が大きい。新設、維持を続けるのではなく、既存住宅や空き家を活用する住宅施策へ転換したい。

要望 町営住宅を増やす事には、将来的に私も危機感を持っている。住む場所がないという問題を把握し、改善する必要がある。古い空き家を改修しても、新築並みのお金がかかるため、改修の仕方も考える必要がある。

上勝町地域集会所修繕事業について

問 物価高騰で材料費が上がっている。
上限30万円はいまだに変わっていない。町の事業については、すぐに対応できるのにも関わらず、住民が使う施設については、何ら変わっていない。上限額を上げる事はできないか。

答 **久保総務課長**
この事業の財源は、100％自主財源であり、財政的に厳しいため、増額は難しい。

中古住宅修繕事業について

問 以前から要望しているが、50歳以下という年齢制限を廃止してはどうか。幅広く住民に使ってもらえる補助金として年齢制限は必要ないと思うが。

答 **清田企画環境課長**
空き家の活用補助金は重要だが、若者、子育て世代の移住促進という制度目的がある。
20～49歳の年齢制限を廃止するのは難しい。

日比ケ谷埋立地地下水分析調査業務について

問 ゼロ・ウェイストセンター周辺の地下水の分析を始めて何年になるのか。

答 **清田企画環境課長**
埋立地が平成10年2月に閉鎖。数年間は放流水等の調査分析を行っていたが、汚染は確認されず、また、工場用地として、全面にアスファルト舗装をしたため、調査を打ち切っていた。しかし、国、県からの指導により、平成22年度から再開し、本年度で17年目になる。

問 1回の分析委託料は約88万円となっている。17年間、汚染が確認されていないのであれば、費用が高額なため、調査の頻度について県に相談に行ってはどうか。

答 **清田企画環境課長**
旧の厚生省から、年1回水質調査を実施し、問題ない事を確認するとともに、県に報告することになっている。

県道16号線について

問 福川の高尾様宅下の広場から、町境へ向けて、真っすぐトンネルを抜いてはどうか。抜くと同時に、町境のS字カーブも真っすぐに改良工事をしてもらえるよう、県に要望してもらえないか。

答 **笹尾建設課長**
同工区には、福川トンネルも存在することから、新たなトンネル工事は難しいと考える。S字カーブの区間については、勝浦町区間になるため、回答は控えたい。

問 要望している工事の進捗状況は。

答 **笹尾建設課長**
八重地の野尻用水下の路肩の崩壊については、調整中。
県道改良上菅蔵地区は山側の側溝に拡幅工事。令和8年度事業で進捗状況は41％。
今年度から、センペルセコイア周辺の改良工事を3年間に分けて実施予定。令和8年度の完成時、進捗状況は24％予定。
昨年度の倒木対策を行った所の側溝維持補修工事は、業者に依頼している状況。

まちのようす



上勝町連合運動会（福原）



上勝町連合運動会（福原）



稲刈り（藤川）



彼岸花（福川）



サルビアの花（生実）



上勝町敬老式典（福原）

編集後記

いかがお過ごしでしょうか。

早11月、今年も残す所2カ月を切り、年を重ねるごとに、日が経つのを早く感じる今日この頃。

先輩方々が守ってきた地域の景観。周辺の草刈だけでも、自然との戦いで、低い物から段々と背が高くなり、木質化するし少し遅れると、おおいかぶさって来て大変ですね。

議会だよりが、少しでも身近に、親しみを感じていただけるように委員一同頑張っています。（関）



発行／上勝町議会　〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原　☎ 0885(46)0111　編集／議会広報調査特別委員会　印刷／鳥海印刷㈲
この広報紙は再生紙を使用しています。